

全国体力・運動能力、習慣等調査の結果について

帯広市立明和小学校

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の本校の状況については、8種目の体力テストの成績を得点化したものの総和である体力合計点でみると、男女ともに全国平均を上回りました。

種目別では、男女とも8種目中、6種目(上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ)が、全国平均を上回るあるいは同等の結果となりました。

また、質問紙からは、依然としてテレビやビデオを見たり、ゲームをしたりしている時間が全国より長いことが明らかになったものの、「運動が好き」「体育の授業が楽しい」「睡眠時間が確保されている」等、全国より上回ったものもありました。

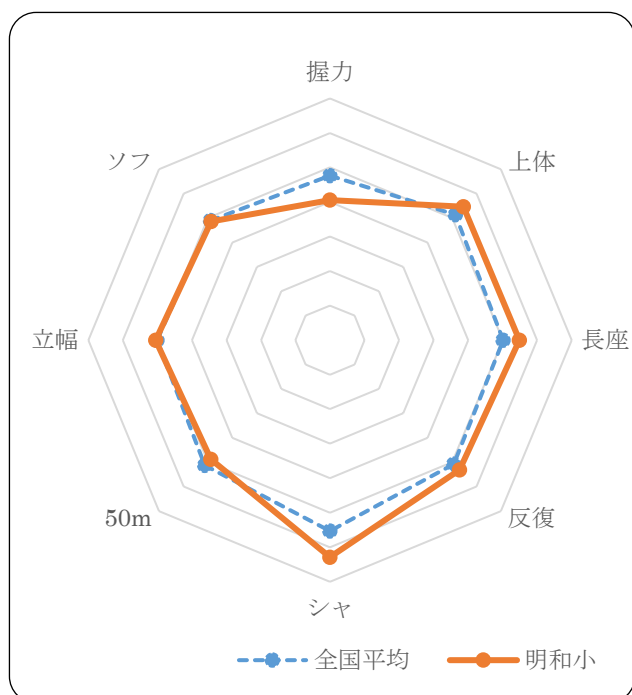
このことは、平成21年度から始まった全国的な調査や、平成22年度から帯広市が独自に実施している「帯広市体力・運動能力調査」の結果を踏まえて、全校あげて児童の体力・運動能力の向上に努めてきたことが、一定の成果をあげてきているものと考えております。

本校といたしましては、引き続き、適切な運動量を確保する体育科等の授業改善をすすめるとともに、家庭や地域、関係機関と連携しながら、児童の生活習慣の見直しの働きかけを行いたいと考えております。

なお、本調査の結果につきましては、児童の体型や肥満度などのデータもあり、公表にあたっては十分な配慮が必要ですが、学力に関する調査の結果同様に「地域の学校教育の状況に関する説明責任」「学校・家庭・地域が連携して学校教育と家庭教育、地域の教育力の相互努力による体力向上の取組の一層の充実」という観点から、全国平均と本校の平均と比較したグラフを下記に示しました。

しかしながら、体力や運動能力等に関する調査では、地域や学校によって、学力に関する調査以上に「実施上の条件の差異」が見られることから、単に数値だけでは判断できないことをご理解いただきたいと思います。

小学校5年男子



小学校5年女子

